

特別企画

DEFA70周年 知られざる東ドイツ映画

東ドイツの公式映画製作機関・DEFAの歴史を回顧する特集



建築家たち©DEFA-Stiftung,Christa Koefler



小さなムックの物語©DEFA-Stiftung,Eduard Neufeld



金のがちょう©DEFA-Stiftung,Roland Dressel



パウロとパウラの伝説©DEFA-Stiftung,Herbert Kroiss,Manfred Damm

特別企画

ぴあフィルムフェスティバルin福岡

第38回PFF入選作品を上映



おい、大石



シジフォスの地獄



回転(サイクリング)



限界突破応援団

特別
企画

DEFA70周年 知られざる東ドイツ映画

東ドイツの公式映画製作機関・DEFAの歴史を回顧する特集

会期:4月1日(土)~4月23日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料:600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

主催:東京国立近代美術館フィルムセンター DEFA財団
ドイツ・キネマテーク
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会
協力:山根恵子(法政大学名誉教授)



※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
※障がい者及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。
(手帳や保険証などの提示が必要です。)
※「わの会」会員の方は300円。(会員証の提示が必要です。)

2(日) 11:00 6(木) 14:00

殺人者は我々の中にいる

DIE MÖRDER SIND UNTER UNS
監督:ヴォルフガング・シュタウテ
出演:ヒルデガルト・クネフ
ウィルヘルム・ボルヒェルト



1946年/デジタル/モノクロ
84分/日本語字幕付き

©DEFA-Stiftung, Eberhard Klagemann

戦後初のドイツ映画でDEFA第1回作品。戦前からの監督W・シュタウテが、脚本への支援を占領国で唯一表明したソ連演で撮影。ネオリアリズムとの類似やナチス否定は同時期のDEFA映画の特徴となった。収容所から生還したスザンネ(クネフ)が戦争のトラウマを抱えた医師(ボルヒェルト)と出会う…

2(日) 15:10 8(土) 11:00

裸で狼の群れのなかに

NACKT UNTER WÖLFEN
監督:フランク・バイヤー
出演:エルヴィン・ゲシュネック
フレッド・デルマール



1963年/デジタル/モノクロ
124分/日本語字幕付き

©DEFA-Stiftung, Waltraut Pathenheimer

F・バイヤーの初期代表作で、原作はアーヘンヴァルト強制収容所の実話を基にした同名小説。初めて強制収容所の生活を描いたドイツの劇映画で、同収容所跡で撮影され、出演者の多数が捕虜経験者。袍に隠されて収容所に入ってきたユダヤ人の子供をめぐる人間ドラマ。1963年モスクワ国際映画祭銀賞受賞。日本でも64年に公開された。

12(水) 11:00 15(土) 14:00

チングァハグクー大蛇と呼ばれた男

CHINGACHOOK, DIE GROSSE SCHLANGE
監督:リハルト・クロンショップ
出演:ゴイコ・ミティッチ
ロルフ・レーマー



1967年/デジタル/カラー/91分/日本語字幕付き

娯楽性と政治的寓意が融合したDEFAの西部劇の中でも、「DEFAインディアン」の代表作。原作は「モヒカン族の最後」で知られるJ・F・クーパの「鹿殺し」。R・クロンショップ監督は戦前のアマチュア映画出身で「オゾンピア」(1938、レーニ・リーフェンシュタール)の撮影も手がけた。

1(土) 17:00 7(金) 14:00

冷たい心臓

DAS KALTE HERZ
監督:パウル・フェアヘーフェン
出演:ルッツ・モイク
ハンナ・ルツカー



1950年/デジタル/カラー/104分
日本語字幕付き

©DEFA-Stiftung, Eric Kilian

DEFA初の児童映画で初のカラー作品(アグファ)。貧しい炭焼の若者(モイク)が、愛する娘(ルツカー)との結婚資金を欲しつつも、黒い森に住む精霊に祈って得た富を使い果たし、悪い精霊と取り引きをする。1951年カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭最優秀カラー映画賞を受賞し、興行的にも大成功をおさめた。

5(水) 11:00 9(日) 11:00

金のがちょう

DIE GOLDENE GANS
監督:ジークフリート・ハルトマン
出演:カスパー・アイヒェル
カーリン・ウゴフスキー



1964年/デジタル/カラー/68分
日本語字幕付き

©DEFA-Stiftung, Roland Dressel

日本でもよく知られた、グリム童話の名作を映画化。二人の兄から愚か者扱いされているクラウス(アイヒェル)は、老女を助けたお礼に黄金のガチョウをもらうが、そのガチョウに欲得ずくで触れる者は皆、次々と手がくつき、大行状を始め始める…。楽しい歌と芝居に満ちた喜劇。

13(木) 11:00 22(土) 14:00

僕は19歳だった

ICH WAR NEUNZEHN
監督:コンラート・ヴォルフ
出演:ジャッキィ・シュヴァルツ
ヴァシリィ・リヴァノフ



1968年/デジタル/モノクロ/119分
日本語字幕付き

©DEFA-Stiftung, Wener Bergman

DEFAのみならず、戦後ドイツ映画においても重要な作品の一つ。K・ヴォルフの実験に基づく映画で、第二次大戦末期、赤軍がベルリンへと進攻する中、ドイツ生まれの19歳の赤軍兵士グレゴール(シュヴァルツ)が経験する出来事を通じて、ドイツおよびドイツ人が問われていく。赤軍によるドイツ人女性への強姦を示唆する描写など、タブーとされてきた主題にも挑んだ。

8(土) 17:00 13(木) 14:00

小さなムックの物語

DIE GESICHTE VOM KLEINEN MUCK
監督:ヴォルフガング・シュタウテ
出演:トーマス・シュミット
ヨハネス・マウス



1953年/デジタル/カラー/100分
日本語字幕付き

©DEFA-Stiftung, Eduard Neufeld

ドイツで最も愛されている童話を映画化。児童映画は、DEFAを代表する映画ジャンルであり、東欧諸国を中心に世界中に輸出され、大きな人気を博した。小さなムック(マウスの語る「千夜一夜物語」)的なイスラム世界が、鮮やかなアグファカラーの色彩とワーファ時代の流れを帯びた特殊効果によって、楽しく創造されている。

1(土) 14:00 6(木) 11:00

引き裂かれた空

DER GETEILTE HIMMEL
監督:コンラート・ヴォルフ
出演:レナーテ・ブルーメ
エーベルハルト・エッシェ



1964年/デジタル/モノクロ/114分
日本語字幕付き

©DEFA-Stiftung, Werner Bergman

クリスタ・ヴォルフの同名小説の映画化。ドイツ分断のテーマを扱い、東ドイツではプレミア上映後に上映禁止となった。ヌーヴェル・ヴォルフの影響も指摘され、ベルリンの壁が建設される前に出会った女子学生(ブルーメ)と化学者(エッシェ)の恋の行方が、ジャズ音楽と硬質な白黒映像で綴られる。

8(土) 14:00 14(金) 11:00

暑い夏

HEISSER SOMMER
監督:ヨアヒム・ハスラー
出演:クリス・デルク
フランク・シェーベル



1968年/デジタル/カラー/95分/日本語字幕付き

©DEFA-Stiftung, Herbert Kroiss

『冷たい心臓』を初めとするカラー映画の撮影部だったJ・ハスラー監督が、60年代半ばから手がけたエンターテインメント映画の代表作。東ドイツ版『グリース』と称され主役のC・デルクが快活に歌う、ドイツでカルト的人気のミュージカル。12人の少女と11人の少年がバルト海で夏休みを満喫。

1(土) 11:00 7(金) 11:00

ベルリン シェーンハウザーの街角

BERLIN-ECKE SCHÖNHAUSER
監督:ゲアハルト・クライン
出演:エッケハルト・シャル イルゼ・パーゼ

1957年/デジタル/モノクロ/83分/日本語字幕付き

ベルリンを舞台にロケーション撮影を駆使して若者の日常を描いた、G・クライン監督とW・コールハーゼのコンビ作の一本。親世代や権威に反抗心を抱く若者たちが、西側商品の闇取引やダンスに汗をかく日々を送るが、そのうち菌車がずれていく…。政府当局から睨まれながらも、若者の支持により大ヒットした。

5(水) 14:00 9(日) 14:00

君が大人になったら、アダム

WENN DU GROSS BIST, LIEBER ADAM
監督:エーゴン・ギュンター
出演:シュテファン・ヤニーケ
ゲリー・ヴォルフ



1965/1990年/デジタル/カラー/74分
日本語字幕付き

©DEFA-Stiftung, Kurt Schuett

撮影中に製作中止され、反体制的とされた台詞の音声トラックが消されるなど部分的に破壊された作品。1990年に復元・公開され、欠落部分は説明文や台詞のテキスト挿入や再録音で補完。少年が白鳥からもらった不思議な懐中電灯でおこす騒動を描く。劇中で読まれる本はプロテリノスの「エネアデス」。

14(金) 14:00 23(日) 14:00

パウルとパウラの伝説

DIE LEGENDE VON PAUL UND PAULA
監督:ハイナール・カール
出演:アンゲリカ・カドレーゼ
ヴィンフリート・グラッツェーダー



1973年/デジタル/カラー/106分
日本語字幕付き

©DEFA-Stiftung, Herbert Kroiss, Manfred Damm

ドキュメンタリー出身のH・カールが、ホーネッカー政権樹立後の自由化政策を背景に、手持ちの男女の激しい恋をポップに描いたDEFA史上に残るヒット作。主演男女優の西ドイツへの亡命後、上映禁止となった。東ドイツのロックバンド、プディーズは、本作を機に人気を博し、後に東ドイツ国家賞を受賞。

15(土) 17:00 19(水) 14:00

金星ロケット発進す

DER SCHWEIGENDE STERN
監督:クルト・メーツヒ
出演:谷洋子 オルドリッチ・ルークス

1960年/デジタル/カラー/94分/日本語字幕付き

ポーランドとの合作による大作で、DEFA初のSF映画。日本でも61年に公開された。原作はS・レムの最初のSF小説。西欧のSF映画と同様に原子力への恐怖が語られるが、世界各国の乗組員が一致団結して金星調査を敢行するさまは、共産圏ならではの理想に溢れている。谷洋子は「嵐は知らない」(1958、ラルフ・トーマス)等で国際的に活躍した。

12(水) 14:00 16(日) 14:00

石の痕跡

SPUR DER STEINE
監督:フランク・バイヤー
出演:マンフレート・クルーク
クリ스티ーナ・スティルコフスカ



1966年/デジタル/モノクロ/139分
日本語字幕付き

©DEFA-Stiftung, Klaus Schwarz

東ドイツで記録的ベストセラーとなった同名小説の映画化。プレミア上映後に検閲で上映禁止となり、23年閉封印された。建築現場の親分肌の労働者(クルーク)と党の書記官(エッシェ)、女技師(スティルコフスカ)、声はユッタ・ホフマン)の三角関係が、滑稽味とリアルな生活描写との絶妙な語り口で展開。

15(土) 11:00 20(木) 14:00

嘘つきヤコブ

JAKOB DER LÜGNER
監督:フランク・バイヤー
出演:ヴラスチミル・プロツキー
エルヴィン・ゲシュネック



1974年/デジタル/カラー/100分
日本語字幕付き

©DEFA-Stiftung, Herbert Kroiss

『石の痕跡』後、舞台やテレビで活動していたF・バイヤーの劇場映画復帰作。ゲットーで暮らすヤコブ(プロツキー)は、警察に聞いたらラジオ放送を仲間に漏らし、嘘を重ねる状況に…。アカデミー外国語映画賞にノミネートされた唯一のDEFA作品で、日本でも83年に公開された。原作は1999年にもハリウッドでロビン・ウィリアム主演で再映画化された。

16(日) 11:00 21(金) 11:00

ソロシンガー SOLO SUNNY

監督:コンラート・ヴォルフ
ヴォルフガング・コールハーゼ
出演:レナーテ・クレスナー
アレクサンダー・ラング

1980年/デジタル/カラー/104分
日本語字幕付き



©DEFA-Stiftung,Dieter Lück

東ドイツで最も尊敬される監督K・ヴォルフの最後の劇映画。1980年ベルリン国際映画祭最優秀女優賞など数々の国際的評価を得、日本でも83年に公開。実話をもとに脚本を書いたW・コールハーゼが共同監督。ドサ回りの女性歌手(クレスナー)の孤独な生き様を、老朽化が放置された都市の情景と共に描く。

19(水) 11:00 22(土) 17:00

冬よ さようなら WINTER ADE

監督:ヘルケ・ミッセルヴィッツ
1988年/デジタル/モノクロ/117分/日本語字幕付き

「壁」崩壊直前の東ドイツに生きる、さまざまな境遇の女性たちをとらえたドキュメンタリー。女性監督H・ミッセルヴィッツの出世作で、カメラの前で自分の人生を率直に語る彼女たちの言葉は苦勞や後悔に満ち、社会主義の説く男女平等の理想に対する鋭い批判となっている。1988年ライブツィヒ国際ドキュメンタリー・アニメーション映画週間(DOKライブツィヒ)「銀の鳩」賞受賞。

20(木) 11:00 22(土) 11:00

カミング・アウト

COMING OUT
監督:ハイナー・カーロウ
出演:マティアス・フライホーフ
ダグマー・マンツェル
1989年/35ミリ/カラー/112分
日本語字幕付き



©DEFA-Stiftung,Wolfgang Fritsche

DEFAが唯一同性愛を正面から描いた劇映画で、ベルリンの壁が崩壊した1989年11月9日に公開。同僚女性と恋仲の若い教員が、美少年と運命的な出会いをする…。男性同性愛者の集まる実際の場所も含め、ロケーション撮影を多用。美少年役のD・クマーは本作からカーロウの助監督を務め、現在は監督として活躍。

21(金) 14:00 23(日) 11:00

建築家たち DIE ARCHITEKTEN

監督:ペーター・カハーネ
出演:クルト・ナウマン
リタ・フェルトマイヤー
1990年/デジタル/カラー/107分
日本語字幕付き



©DEFA-Stiftung,Christa Koefler

青年建築家ダニエル(ナウマン)は、ベルリン新興地区の再開発という大役を任せられ、同世代の仲間たちとチームを組んで張り切るが、彼らのアイデアは旧態依然とした市の行政によって骨抜きにされてしまい、ダニエルの家庭にも危機が訪れる…。「壁」崩壊をはさんで製作された、ドイツの歴史的転換を象徴する作品。

講演 2(日) 14:00~15:00

「東ドイツ知識人の苦悩」

講師 星乃 治彦 (福岡大学人文学部歴史学科教授)



九州大学大学院文学研究科修了。博士(文学)。専門はドイツ現代史、とくに反ファシズム、東ドイツ史、社会主義史、ジェンダー史。1982-85年東ドイツ滞在。それ以降も断続的に東ドイツ在住。著作に「東ドイツの興亡」(青木書店)「社会主義圏における民衆の歴史」(法律文化社)「男たちの帝国」(岩波書店)等がある。

※講演は有料で15時10分の「裸で狼の群れの中に」とセット料金です。
※開場は開演の30分前。

特別企画

ぴあフィルムフェスティバルin福岡

第38回PFF入選作を上映

会期:4月28日(金)~4月30日(日)

観覧料:900円(当日1回券) 700円(前売り1回券)
2,400円(当日3回券) 1,800円(前売り3回券)
600円(当日学生1回券) 5,000円(フリーパス)

主催:福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会 PFFパートナーズ

※前売り券はチケットぴあ(Pコード467-117)で販売。
※定員制。各回入替制。
※開場は開演の15分前。
※障がい者、高齢者及び「わの会」割引なし。
※3回券はお一人様用です。複数人での使用はできません。
※学生・留学生の方は身分証の提示が必要です。

28(金) 11:00

私の窓

監督:渡邊桃子 2016年/デジタル/41分

長野の祖父宅で穏やかな日々を過ごし、美眸は東京に戻る。監督自身の祖父や友人を配役して極私的世界を描きながら、映画の幅、日常で生まれるドラマの可能性を、押し広げる。

DRILL AND MESSY 監督:吉川鮎太 2016年/デジタル/40分

PFFアワードエンタテインメント賞
とある美大。男は女を汚して映像を撮る。女は完成させた映像を破壊。彼らにとって芸術とは? 基盤は性欲? 憎悪? 美美女のボーイ・ミーツ・ガール形式で果敢に問う。

山村てれび氏 監督:阿部理沙 2016年/デジタル/21分

かつて山村家の団らんを中心にあったブラウン管テレビ=てれび氏は、無用の長物に。氏はずっと見つめてきた家族の日々を再生。氏の第二の人生も描く、愛にあふれた作品。

28(金) 14:00

バット、フロム、トゥモロー 監督:鈴木竜也 2016年/デジタル/61分

気弱なノビタ宅に居候する地方都市の大学生イコオはカンニングで留年決定。地味な女子に恋するノビタ。衝動的行動が思わぬ結果を招くが、それでも明日はある!と背中を押す。

もっけのさいわい 監督:中泉裕矢 2016年/デジタル/45分

口論が絶えない倦怠期夫婦のアパートにヤモリが。妻は幸福の印と喜ぶ。すると彼らの家にモノノケ(=もっけ)が登場。微妙な心理の変遷をテンポよく描く、ある結婚の風景。

28(金) 17:00

人間のために 監督:三浦翔 2016年/デジタル/62分

戦争したくない。民主主義ってなんだ。暴力と痛み。言葉。違和感。大学生の私たちが、今、何を感じているのか、探り、記録し、表現しようとする強い意志が、ひしひしと伝わる。

溶ける 監督:井裡彩 2016年/デジタル/45分

PFFアワード審査員特別賞
田舎町の女子高校生・真子は、言葉にならない違和感を学校でも家でも抱いている。東京から来た従兄弟、妊娠する同級生。真子の奇立ちは何に対する嫌悪なのか、力強く描く。

29(土・祝) 11:00

波と共に 監督:川添ピラル 2016年/デジタル/26分

福島から避難した女性のペンションで働くミャンマー人青年と女性の邂逅。帰る場所を失った、似ているようで異なる境遇を超え、海辺の町で絆を結んでいく姿を情感豊かに描く。

また一緒に寝ようね 監督:首藤凜 2016年/デジタル/43分

PFFアワード審査員特別賞 映画ファン賞
「コウモリが天井に張り付いてる」と男が言い、1年。一緒に暮らすOLはなすすべなく別の男と逢瀬。過去と現在、幻と現実、さまざまが絡まり、映画の工夫が随所で楽しめる。

おーい、大石 監督:菊沢将憲 2016年/デジタル/26分

平和活動に飽きたキクザワは、橋の下に暮らす大石に再会。そこらの葉っぱを吸ったり刺してたり、おっさん2人の突飛な行動に、喪失、自由、人生、友情が、ポップに炸裂!

29(土・祝) 14:00

傀儡 監督:松本千晶 2016年/デジタル/77分

恋人を失って12年後、男は故郷に戻り彼女の死の真相を探る。トンネルを抜けたところにある村は、異世界のごとく人も空気も奇妙に歪み…。ねっとりした質感が充満する力作。

限界突破応援団 監督:渡邊聡 2016年/デジタル/30分

高校の応援団に入った1年生男子が、伝説の応援王を超えるべく奮闘。応援団の存在意義とは? という根源的な問いも含めて、熱くもえたる青春スポ根コメディ。

29(土・祝) 17:00 招待作品

東京白菜関K者 監督:緒方明 1980年/デジタル/カラー/59分

1981PFF入選
ある朝起きたら白菜に変身していた男K。カフカを下敷きにしながら文学性とは無縁に街を疾走するKを捉えた新感覚アクション映画。

1/880000の孤独

監督:石井聰互(岳龍)
1977年/デジタル/カラー/43分

東京の片隅で孤独な毎日を送る浪人生の鬱屈が、なんの前触れもなく爆発! 自主映画界の革命児・石井監督、原点の1作。



30(日) 11:00

食卓 監督:小松孝 2016年/デジタル/47分

PFFアワードグランプリ
年金暮らしの父と無職の30代息子。子の散らかりきった一軒家に、父の再婚相手が参入。3人の孤独を食卓/食事の変化で表現しつつ、「創作」による再生も描く、汚部屋ラブソニー。



福島桜紀行 監督:鉾井喬 2016年/デジタル/30分

福島在住の監督が県内の桜前線に沿って移動。桜と人々を撮っていく。太平洋側から内陸へ、福島各地の現在が具体的に描かれるなか、静かな語り口と満開の桜に、涙あふれる。

ツケモノの子 監督:阿部平 2016年/デジタル/22分

兄と暮らしている女性はタクワン大好き。だが、ある日この世からタクワンの存在自体が消滅、代替物を探し求めるが…。愛や幸福の探求をコミカルに表現する発想力が素晴らしい。

30(日) 14:00

花に嵐

監督:岩切一空
2016年/デジタル/76分

PFFアワード準グランプリ ジェムストーン賞 日本映画ベンクラブ賞
大学の映画サークルに入った僕が始める映像日記は、フェイクドキュメンタリー、ミステリー、ホラーと七変化。美人先輩に「脂」と名づけられ嘲笑されても、撮影に突っ走る!



シジフォスの地獄 監督:伊藤舜 2016年/デジタル/19分

PFFアワード審査員特別賞
ひたすら小石を分類する砂利選別作業所で働く石井。使えない新人。唐突に辞めた先輩。石井の耳には冬なのに蟬の音が鳴り続ける。この閉塞した場から、早く逃げろ! 石井!

回転(サイクリング) 監督:山本英 2016年/デジタル/16分

隣あった家で独居生活する70代の姉と弟。趣味と健康維持にいそむ姉弟の穏やかな日常を「観察」するうちに、2人の習慣が入れ替わる! 監督の愛情に満ちた眼差しが全編を包む。

30(日) 17:00

ヴァニタス 監督:内山拓也 2016年/デジタル/104分

PFFアワード観客賞
毎日のようにバスケットに興じる大学生4人。自分の胸のうちはや境遇を語らない関係性とやがて起きる破綻を、繰り返しの日常でシャープに描く。ただならぬ映像センスが光る。

楽しい学校生活 監督:前畑侑紀 2016年/デジタル/5分

中学校の休み時間、ひとりの女性徒の目から見える教室の風景を描いたアニメーション。楽しいな級友や壁の落書きにおぼろげと向けられる視線に、心情が鮮明に浮かび上がる。



3/25土 自主上映／オール福岡口『ある女工記』上映とシンポジウム

26日 自主上映／福岡映画サークル協議会例会

27月 休館日

28火▶30木 休映日

31金 休館日

4/1土 11:00 ヘルリン シェーンハウザーの街角 14:00 引き裂かれた空 17:00 冷たい心臓

2日 11:00 殺人者は我々の中にいる 14:00 15:10 講演 裸で狼の群れのなかに

3月 休館日

4火 休映日

DEFA

5水 11:00 金のがちょう 14:00 君が大人になったら、アダム

6木 11:00 引き裂かれた空 14:00 殺人者は我々の中にいる

7金 11:00 ヘルリン シェーンハウザーの街角 14:00 冷たい心臓

8土 11:00 裸で狼の群れのなかに 14:00 暑い夏 17:00 小さなムックの物語

9日 11:00 金のがちょう 14:00 君が大人になったら、アダム

70周年

10月 休館日

11火 休映日

12水 11:00 チンガツハグーク大蛇と呼ばれた男 14:00 石の痕跡

13木 11:00 僕は19歳だった 14:00 小さなムックの物語

14金 11:00 暑い夏 14:00 パウルとパウラの伝説

15土 11:00 嘘つきヤコブ 14:00 チンガツハグーク大蛇と呼ばれた男 17:00 金星ロケット発進す

16日 11:00 ソロシンガー 14:00 石の痕跡

知られざる東ドイツ映画

17月 休館日

18火 休映日

19水 11:00 冬よ さようなら 14:00 金星ロケット発進す

20木 11:00 カミング・アウト 14:00 嘘つきヤコブ

21金 11:00 ソロシンガー 14:00 建築家たち

22土 11:00 カミング・アウト 14:00 僕は19歳だった 17:00 冬よ さようなら

23日 11:00 建築家たち 14:00 パウルとパウラの伝説

24月 休館日

25火▶27木 休映日

びあフィルムフェスティバルin福岡

28金 11:00 私の窓 他 14:00 バット、フロム、トゥモロー 他 17:00 人間のために 他

29土祝 11:00 波と共に 他 14:00 傀儡 他 17:00 東京白菜関K者 他

30日 11:00 食卓 他 14:00 花に嵐 他 17:00 ヴァニタス 他

DEFA (Deutsche Film Aktiengesellschaft)とは

1946年から1990年の東ドイツ終焉まで続いた東ドイツの公式な映画製作機関。ポツダム＝バーベルスベルクの撮影所を継承し、当初はソヴェイトに統制されていたが、1949年の東ドイツ成立を経て、1953年に国営企業となった。7千本以上の劇映画、ドキュメンタリー、ニュース映画等を製作。1990年以後、撮影所は民間企業の所有となり、DEFAの映画資産はDEFA財団が管理。今回の上映は日本初の本格的なDEFA回顧上映である。

自主上映のお知らせ

3月25日(土) オール福岡口『ある女工記』上映とシンポジウム

上映作品：「ある女工記」(2016年/57分/児玉公広監督)

①11:00 上映 ②13:00 上映
シンポジウム 14:30~15:30

料 金：1,000円均一

主 催：映画『淫売婦(仮)』製作委員会 TEL090-3417-5709

3月26日(日) 福岡映画サークル協議会例会

上映作品：「バリ20区、僕たちのクラス」(2008年/128分)

①11:00~ ②14:00~

料 金：一般 当日1,400円(前売り1,200円)
シニア 当日1,000円/中・高生 800円

主 催：福岡映画サークル協議会 TEL092-781-2817

※詳細については主催者に直接お問い合わせください。

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



百道ランプ
都市高速道路
福岡タワー
福岡ドーム
福岡タワー南口バス停
博物館南口バス停
福岡市総合図書館
福岡市博物館
中国総領事館
韓国総領事館
よかとピア通り
藤崎
西新
福岡市営地下鉄

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】
●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分
●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[TEL.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。

第376回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日 時：2017年4月25日(火) 12:00~13:00 ※入場無料

場 所：西日本シティ銀行本店1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)

曲 目：ドボルザーク作曲 弦楽四重奏曲第13番ト長調 Op.106 他

演奏者：福岡ハイドン弦楽四重奏団

主 催：西日本シティ銀行/公益財団法人福岡文化財団 (TEL.092-473-6777)



音楽文化のリサイクル

レコード/CDお売り下さい!!

092-734-4198

〒810-0041 福岡市中央区大名1-14-14 立花ビル2F (AM11:00~PM8:00)

大量の本の整理

おまかせください。

いろいろなものをまとめて査定

●本 ●CD ●レコード
●昭和レトロなコレクション

古書よかばい堂

092-408-4208

<http://www.yokabaido.com/>
〒815-0074 福岡市南区寺塚1-26-18-101

